

# 野外博物館「日根荘遺跡」ウォーキングマップ

ひねのしょう  
「日根荘遺跡」ウォーキングマップ



平成19年度芸術空間形成事業(ミュージアムタウン構想の推進)  
発行●日根荘野外博物館活用プロジェクト実行委員会 編集●歴史館いすみさの・荘園研究会  
連絡先 〒598-0005 大阪府泉佐野市市東1丁目295-1 歴史館いすみさの 発行/平成19年11月20日  
TEL072-469-7140 E-mail rekishi@city.luzimisan.lg.jp 制作/株式会社 ウィング

## いま、よみがえる日根荘の世界

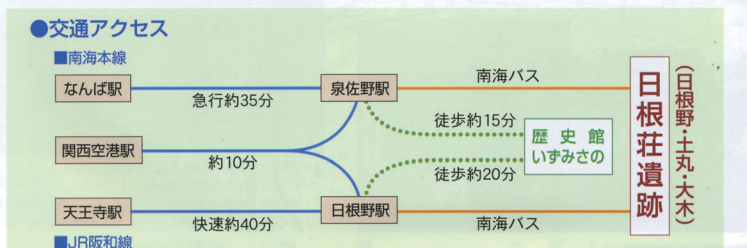
今から約800年前は、全国に貴族・寺社の領地(荘園)ができた、中世という時代です。現在の泉佐野市域に日根荘という荘園がありました。日根荘は京都朝廷の公家・九条家の荘園です。九条家は天皇に次ぐ摂政・関白となる有力な公家(五摂家)です。

日根荘が立てられたのは、鎌倉時代の天福2(1234)年。当初の日根荘の領域は、長滝荘・上郷・樫井をのぞく、現泉佐野市域の大部分を占めました。日根荘は鶴原村・井原村・日根野村・入山田村(現在の土丸・大木)の4か村から成り立っていました。

日根荘には広大な荒野が残っており、九条家や荘園住民は荒野の水田開発を進めます。延慶3(1310)年には僧の実専(実行上人)に、正和5(1316)年にも和泉国の久米田等に、開発を行わせます。この二つの時期に荘園の絵図が作られ、村の実態や開発の様子がわかります(表紙と裏面の絵図を参照)。

南北朝の内乱期(1336年-1392年)には、室町幕府と南朝が土丸・雨山城をめぐって戦います。内乱が終わった1400年代初めには、九条家は鶴原村・井原村を奪われ、日根荘は日根野村と入山田村だけになりました。

これ以後、日根荘は、和泉国の守護大名細川家と、紀伊国から勢力を伸ばした根来寺との戦争に巻き込まれます。こうしたなか、前関白の九条政基は文亀元(1501)年から4年間、日根荘に滞在して支配を行いました。政基がこの間に記した日記が「政基公旅引付」(表紙)で、戦国時代の荘園の生活を知る上で超一級の史料です。しかし政基が京都に帰ると、日根荘は根来寺が支配するようになりました。根来寺も天正13(1585)年、豊臣秀吉に滅ぼされます。このような歴史のある日根荘の故地には、中世につくられた神社・寺院・農業用水路・ため池・古道・石造物などが多く伝わり、歴史がはぐくんだ景観をみることができます。



## 野外博物館「日根荘遺跡」ウォーキングマップ

### 大木地区

①土丸・雨山城 南北朝内乱期に築かれた城です。城の主体は室町幕府方の白根野氏、南朝方の橋本正善、和泉国守護(山名氏・大内氏)と変わりました。嵐田信長が攻めよせた天正5(1577)年に土丸・雨山城が焼かれました。

②土丸・雨山城 土丸・雨山城をつなぐ道があります

③長福寺跡 文亀元(1501)年からの4年間、九条政基が滞在した寺院の跡と考えられます。発掘により建物跡などが見つかりました。「旅引付」によれば、長福寺のとなりに政基の住まいがありました。政基と家臣たち10数人が生活し、祭礼を行う広場もあったようです。

④畠田の石塔 四足橋の北、畠田のなかにあります。宝篋印塔という石塔が並んでいます。このうち一つは文明13(1481)年の銘文があります。地元の言い伝えでは土丸城から落ちたびて「畠田の合戦」で討たれた武士の墓といわれています。

⑤立花谷池 鎌倉時代、「庵」といいう池があり、中世に築かれた池です

⑥円満寺 中世の大木村(現下大木)の寺院です。文龜3(1503)年、円満寺で般若心経講読の祈禱があり、入山田村の人々が集まって一万度参りをしました。村の法会や曲舞(舞の一種)も行われています。守護の軍勢に備えて村人を召集する鐘もありました。

⑦サエノカミの祠 上大木と中木大の境界にある祠です。村の境にまつられる神を「葦の神」「道祖神」といいます。地蔵があり石塔(五輪塔)や板碑もあります。櫻井川の恩徳橋にも近く、歩く時の目印になります。この上の高台が西光寺です。

⑧西光寺 中世の船瀬村(現上大木)の寺院です。現在は大木の集会所となっています。もとの境内には石造物が伝わり、一番背の高い石造物は庚申塔です。ここから南に下り橋を渡って進むと、美しい水田の景色を見ることができます。

⑨香積寺跡 中世の船瀬村(現上大木)の寺院です。「旅引付」によると香積寺は年末年始に長福寺の政基のもとに参上しています。政基は「双紙」(書物)を貢いでいます。建物は残っていませんが、五輪塔や五輪塔がたたくく広わります。

⑩毘沙門堂 中木の御所谷という谷にあります。「旅引付」によると「御所谷集会所」があり、高麗村の番頭「御所谷高内」がいました。境内には正平3(1348)年の板碑があります。毘沙門堂の近くを大木の用水路・大井が流れます。

⑪火走神社 入山田村全体の神社で、「高麗大明神」とよばれました。7月の盆には作り物や旗をまわらして練り歩く風流盆が行われました。8月の独楽・田楽、11月の「ホタキ」神事、干ばつ祈の雨乞い、入山田村の合戦の場でもありました。

⑫毘沙門堂のある御所谷の上り坂です

⑬丸谷の石塔 鎌倉時代、「円満」というところに築かれた池と関係があります

⑭火走神社 入山田村全体の神社で、「高麗大明神」とよばれました。7月の盆には作り物や旗をまわらして練り歩く風流盆が行われました。8月の独楽・田楽、11月の「ホタキ」神事、干ばつ祈の雨乞い、入山田村の合戦の場でもありました。

⑮丸谷の石塔 鎌倉時代、「円満」というところに築かれた池と関係があります

⑯大木城跡

⑰大木城跡

⑱大木城跡

⑲大木城跡

⑳大木城跡

㉑大木城跡

㉒大木城跡

㉓大木城跡

㉔大木城跡

㉕大木城跡

㉖大木城跡

㉗大木城跡

㉘大木城跡

㉙大木城跡

㉚大木城跡

㉛大木城跡

㉜大木城跡

㉝大木城跡

㉞大木城跡

㉟大木城跡

㊱大木城跡

㊲大木城跡

㊳大木城跡

㊴大木城跡

㊵大木城跡

㊶大木城跡

㊷大木城跡

㊸大木城跡

㊹大木城跡

㊺大木城跡

㊻大木城跡

㊼大木城跡

㊽大木城跡

㊾大木城跡

㊿大木城跡

凡例

- 国史跡指定地
- 国史跡以外の史跡
- 池・川
- 古道
- ウォーキングコース
- バス停
- 境内の範囲
- 案内版
- 遺構など
- 橋

泉佐野市製地図(昭和59年測量・平成5年修正) 1:2,500を縮小

泉佐野駅から大鳴温泉方面へバスで約25分、和泉山脈のふとこに当たる盆地に、大木(上大木・中大木・下大木)の集落があります。ここは北どなりの土丸とともに、日根荘の入山田村にふくまれた集落です。

平安時代(900年代)には火走神社(中大木)がありました。中世に入ると立花谷や円谷に池が築かれ、船瀬(上大木)・御所谷(中大木)・岩崎(下大木)などに水田が開かれました。これら水田と村は鎌倉時代の天福2(1234)年、日根荘入山田村に組み入れられました。

室町時代の応永24(1417)年、日根野・入山田村の人々は九条家との間で、年貢をきまった額とするの契約を結びます。入山田村には船瀬・菖蒲・大木・土丸の4か村がありました。それぞれ現在の上大木・中大木・下大木・土丸にあたります。

戦国時代、文亀元(1501)年から永正元(1504)年、九条政基が当時の大木村(現下大木)の長福寺に滞在して日根荘を支配しました。政基が在任した4年間は守護細川家と戦うため紀伊の根来寺の軍勢がしばしば入山田村に押し寄せました。

村の人々は年貢の取り立てや裁判をめぐる、しばしば政基と対立しました。村人たちは番頭・古老(ともに村の代表者)を中心に団結します。武装して守護の軍勢から村を守り、用水路の修理なども共同で行いました。また「風流」という祭礼や芸能をもよほし、政基を感心させています。

これらのことは政基の日記「政基公旅引付」に記されています。大木には中世をしのばせる寺院・神社・池・水路があり、「旅引付」の世界が息づいています。

### 大木散策モデルコース

大木散策の見どころは、③長福寺跡(九条政基の居所)、⑪火走神社(入山田村全体の神社)、西光寺(大木を一望できる場所)です。それぞれ下大木・中大木・上大木のバス停の近くです。どのバス停からでも散策ができます。しかしせかく歩くなら歴史のある道を歩きたいものです。下大木バス停からのモデルコースは次のとおりです。道ぞいにある道標や祠が歩く目印になります。バス道路は交通量が多いため、くれぐれもご注意を。

下大木(バス停)→②円満寺→③長福寺跡→(橋を渡る)→水間道→④畠田の石塔→(石段の上り坂)→⑤禅徳寺→⑥西光寺(大木を一望)→(急な下り坂)→⑥蓮華寺→(上り坂)→⑦香積寺跡→(来た道をもどる)→⑦サエノカミの祠→粉河道→(車に注意)→⑩毘沙門堂→⑪火走神社→中大木(バス停)

### 周辺の見どころ

⑧西光寺 中世の船瀬村(現上大木)の寺院です。「旅引付」によると西光寺は年末年始に長福寺の政基のもとに参上しています。政基は「双紙」(書物)を貢いでいます。建物は残っていませんが、五輪塔や五輪塔がたたくく広わります。

⑨香積寺跡 中世の船瀬村(現上大木)の寺院です。「旅引付」によると香積寺は年末年始に長福寺の政基のもとに参上しています。政基は「双紙」(書物)を貢いでいます。建物は残っていませんが、五輪塔や五輪塔がたたくく広わります。

⑩毘沙門堂 中木の御所谷という谷にあります。「旅引付」によると「御所谷集会所」があり、高麗村の番頭「御所谷高内」がいました。境内には正平3(1348)年の板碑があります。毘沙門堂の近くを大木の用水路・大井が流れます。

⑪火走神社 入山田村全体の神社で、「高麗大明神」とよばれました。7月の盆には作り物や旗をまわらして練り歩く風流盆が行われました。8月の独楽・田楽、11月の「ホタキ」神事、干ばつ祈の雨乞い、入山田村の合戦の場でもありました。

⑫毘沙門堂のある御所谷の上り坂です

⑬丸谷の石塔 鎌倉時代、「円満」というところに築かれた池と関係があります

⑭火走神社 入山田村全体の神社で、「高麗大明神」とよばれました。7月の盆には作り物や旗をまわらして練り歩く風流盆が行われました。8月の独楽・田楽、11月の「ホタキ」神事、干ばつ祈の雨乞い、入山田村の合戦の場でもありました。

⑮丸谷の石塔 鎌倉時代、「円満」というところに築かれた池と関係があります

⑯大木城跡

⑰大木城跡

⑱大木城跡

⑲大木城跡

⑳大木城跡

㉑大木城跡

㉒大木城跡

㉓大木城跡

㉔大木城跡

㉕大木城跡

㉖大木城跡

㉗大木城跡

㉘大木城跡

㉙大木城跡

㉚大木城跡

㉛大木城跡

㉜大木城跡

㉝大木城跡

㉞大木城跡

㉟大木城跡

㊱大木城跡

㊲大木城跡

㊳大木城跡

㊴大木城跡

㊵大木城跡

㊶大木城跡

㊷大木城跡

㊸大木城跡

㊹大木城跡

㊺大木城跡

㊻大木城跡

㊼大木城跡

㊽大木城跡

㊾大木城跡

㊿大木城跡

### 旧向井家住宅

江戸時代の享和2(1802)年ごろに建てられた農家住宅です。もと上之郷にありましたが、現在地に移築しました。大きな茅ぶきの屋根があります。櫻井川が近く、初夏には川辺でホテルが見られます。

(南海バス水呑地蔵前下車)  
\*見学や利用を希望される方は歴史館いすみさまでお申し込み下さい。(講座・教室・イベントの利用もできます)

### 大鳴山七宝瀧寺

大鳴山七宝瀧寺は修験道の行場として建てられました。九条家とゆかりの深い「家門の寺」だったようです。「旅引付」によれば入山田村の雨乞いをおこなう場でもありました。政基も戦乱をさけて大鳴山に逃れ、「七宝瀧寺縁起」を写しました。境内は町石・板碑など石造物の宝庫です。深谷が美しく大阪府の名勝です。大鳴温泉もあります。

(南海バス大鳴山下下車)



